学校番号	1004

平成３１年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	実教出版　「数学Ｂ」　新訂版（実教　数Ｂ３１９）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・級数の考え、代数幾何学へつながる新たな分野です。好奇心をもって取り組んで下さい。
・あきらめずに課題に取り組み、周りの人と協働で考える活動に取り組んでください。
・問題集用のノートを用意して下さい。
・家庭学習における課題として定期的に点検します。毎時間ごとに課される課題に取り組んでください。

2　学習の到達目標

数列，ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数列やベクトルに関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることなどを通して，数列やベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけている。	数列やベクトルにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数列やベクトルにおける基本的な概念，原理，法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等	単元テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1学期	1章 数列	数列 数列 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号Σ いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法 漸化式 数学的帰納法	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:いろいろな数列に関心をもつとともに，その規則性を表現することのよさを認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:数列の規則性や一般項，和を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:数列の一般項や和を求めたり，数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。 d:数列の一般項や和，漸化式，数学的帰納法の基本的な概念，性質を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
第2学期	第2章 ベクトル	平面上のベクトル ベクトルの意味 ベクトルの加法・減法・実数倍 ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの応用 位置ベクトル ベクトル方程式	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ベクトルに関心を持つとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:事象をベクトルを用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:事象をベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。 d:ベクトルに関する基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

第3学期	第2章 ベクトル	空間におけるベクトル 空間座標 空間におけるベクトル 位置ベクトルと空間の図形	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 平面のベクトルから空間のベクトルへの拡張に興味を示し、それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 平面のベクトルから空間のベクトルへ拡張して、事象をベクトルを用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 座標空間における図形を点の座標や距離を用いて表すことができ、事象を平面のベクトルと同様にして、空間のベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。 d: ：座標空間における図形の座標や距離を求めることができ、平面のベクトルと同様に、空間のベクトルに関する基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。